

第6回環境審議会での指摘と対応結果

No.	項目	指摘内容	対応	次回以降対応
1	第1章	第1章 基本目標の進捗部分について、文字の体裁を修正すること。また、達成状況が0%になっているものや市民になじみがない用語は、注釈等で説明が必要ではないか。	体裁や構成は、全体的に見直しを行います。また、進捗状況や用語について説明が必要なものは補足で説明をいれませ	△
2		達成目標1-③マイカーを控える市民の割合は年々減少している。歩く人が減っていることだと思うので、コラムを利用するなどして具体的な取り組みの記述ができないか。	コラム（または市民の取り組み）に記載します。	△
3		基本目標2の【サブタイトル】の記載を変えることはできないか。「自然共生社会」というキーワードを入れることにより、基本目標1、3の低炭素社会、循環型社会とも表現がそろい、現状にふさわしいものになると思う。	第2章の施策の方向性の中に、生きものと共生できる環境の実現を目指す旨の記述を加えました。	
4		基本目標ごとの方向性で、地球温暖化に関する記載のうち「電気」という表現は限定的であるため、「建物や自動車を中心とした省エネ対策」などの表現がよいのではないか。	表現を修正しました。	
5		都で示すところの東京オリンピックを見据えた環境配慮施策について、最新の情報を市の施策に取り入れられないか	省エネや水素利活用等の具体的な取り組みを追記しました。	
6		第1章と第2章の方向性の整合が取れていない。もともとの考え方と実際に取り組む内容でギャップがあるので、前期アクションプランから後期アクションプランにつなぐための方向性ということで、表現を修正すべきである。	表現を修正しました。	
7	柱1	重点事業2のみどりのカーテンについて、屋上緑化や壁面緑化という表現に変更したほうがよいのではないか。指標は、施設数や苗数ではなく、取り組んでいる人の割合など成果がわかるものにしたほうがよいのではないか。取り組んだことによりどの程度の効果があるかを提示する（コラム等）することにより、省エネ効果を実感してもらえるのではないか。	屋上緑化等の表現については、所管課と調整中です。取り組みの成果は、コラムに記載します。	△
8		みどりのカーテン等について、同じような施策が複数行に分かれているものがあるが、何か違い・意図があるのか？わかりにくくなっているのではないか。	第2章全体的に言える部分でもあるので、再精査します。	△
9		透水性舗装が、何故、基本目標1に入っているかがわかりにくい。地球温暖化防止の適応策としての位置づけであることがわかる表現を入れたほうがよいのではないか。	第1章にコラムを追加します。	△

No.	項目	指摘内容	対応	次回以降対応
10	柱2	重点事業8に三輪の森についての記載がないが、やらないということか。三輪の森についても記載すべき。	重点事業としては、三つの都市計画公園を施策として取り上げています。三輪の森については、緑の基本計画2020に記載があるとおり、取り組みを進めていきます。	
11		前期アクションプランに載っている「源流保水の森保全活動」のコラムは、残してほしい。奈良ばい谷戸に限定せずに、各種保全活動を一つのコラムに集約してもよいのではないか。	コラムを修正します。	△
12		中柱2－[3] 生物多様性の保全については、プランができ次のステップに入っているため施策②③の見出しの表現は変更したほうがよい。	下記のとおり、表現を修正しました。 ②市内の生物の生育・生息状況を把握します ③生物多様性保全の取り組みを推進します	
13		2－1－④の伐採木の部分については、利活用の表現をもう少し書き込んでほしい。	下記のとおり、表現を修正しました。 伐採木、伐採竹の製品化等による利用促進	
14		2-3-③ 貴重な生物の保全促進とあるが、貴重なものだけでなくポピュラーなものも含めて取り組んでほしい。また、NPO/自然保全団体と施策を分けているのは不自然なので、記載方法を検討してほしい。	生物多様性の啓発活動では、貴重種に限定しない取り組みを実施していきます。施策としての表現は、貴重種の保全とします。また、団体についての施策の表現は、所管課と調整します。	△
15		2-2-②鶴見川・境川・恩田川等の水源涵養域の施策は、協働で行っている部分もあるので、ハスのんマークがあるとよい。	ハスのんマークを追加しました。	
16		現状と動向の部分に、町田市には源流(境川・鶴見川・恩田川)があるので、そのことの記事は残してほしい	源流についての記載を追加しました。	
17	柱3	3Rについての説明があるとよいのではないか。	用語説明に記載します。	△
18		重点事業15 出前講座などは回数でなく意識調査によるものを指標としてはどうか？	市民アンケートに項目追加し、進捗を図る補足資料として活用することを検討します。	△
19	柱4	「生活風景宣言」とは何か。景観ガイドラインの策定経過も含めてコラム等での説明があったほうがわかりやすいのではないか。	コラム等での説明を記載します。	△

No.	項目	指摘内容	対応	次回以降対応
20	柱5	学校教育とは違う場面で行っている活動も数多くある。それら自主的な活動を促進するような項目を入れられないか	コラム等での説明を記載します。	△
21		NPO法人でない団体も沢山ある。情報発信の方法を検討してほしい。また、ボランティア団体の窓口（案内ブース）を用意して紹介するなどもあるとよいのではないか。	表現を修正します。	△
22		エコアクション21のような認証を支援する事業は続けてほしい。	その他施策の中に含まれており、継続して実施していきます。	
23	全体	重点事業の目標は、達成目標の実現のための目標値になっているか？その妥当性をどう判断するか？第1章との整合性も含めて再確認されたい。	達成目標の進捗状況を考慮した上で、施策の所管各課にて目標値を設定しています。	
24		以前、横浜市・川崎市・町田市が3市合同で緑の保全に関する共同事業を行っていたが、そのような自治体間の連携を盛り込めるとよいのではないか。	境川クリーンアップキャンペーン等で他自治体との連携を実施しています。今後も連携の機会を模索していきます。。	
25		市民にとっては、難しい冊子になるので、少しでも見てもらえるように、冊子の見方を説明するページがあるとよい。	第2章の前にガイドページを差し込みます。	△